

府中市立図書館の現状と役割・
図書館サービスの内容

目 次

1	府中市立図書館の歩み	1
2	府中市立図書館の基本方針	2
3	中央図書館の有する機能.....	2
4	地区図書館の役割	2
5	府中市立図書館の施設概要	3
6	府中市立図書館が提供する主なサービス	9
7	運営手法の概要	12
8	運営主体.....	13
9	運営内容.....	13
10	府中市の図書館の利用状況の推移.....	15

1 府中市立図書館の歩み

年月	起こったこと
1947年 (昭和22年)	府中図書室を当時新宿町にあった町会議所(現・宮町)に開設。冊数約5,000冊
1961年 (昭和36年)	旧府中町役場を利用して府中市立図書館を開館
1962年 (昭和37年)	図書の貸出を開始
1967年 (昭和42年)	大國魂神社境内に移転、新しく開館 人口10万人以上20万人未満の自治体の図書館として、貸出数日本一 児童室とは独立したおはなし室を日本で初めて設置
1971年 (昭和46年)	白糸台図書館を始めとする地区図書館を順次開館
2007年 (平成19年)	ルミエール府中(府中町)に中央図書館を移転、開館 図書館整備にあたって、民間活力を活用するためPFI方式を採用 日本初となるRFID ¹ を活用した予約図書受渡システムの導入など、最新の図書館システムを持つ図書館としてサービスを開始
2011年 (平成23年)	府中市立図書館サービス検討協議会発足
2015年 (平成27年)	府中市立図書館サービス検討協議会を府中市立図書館サービス検討会議に名称を変更
2017年 (平成29年)	市政情報センター図書取次業務開始
2019年 (令和元年)	府中市図書館協議会発足。「府中市立図書館の今後の運営手法に関する事項」を諮問。答申が提出される。

¹ Radio Frequency Identifier の略。資料に付けたタグの情報を、装置によって読み取り・書き換えできるシステム。

2020年 (令和2年)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、サービス一部利用停止
2021年 (令和3年)	府中市立図書館開館60周年記念講演会 「日本における新聞の誕生から戦後の再出発まで」
2023年 (令和5年)	中央図書館リニューアルオープン ふちゅう電子図書館サービス開始

2 府中市立図書館の基本方針

府中市立図書館は、図書館づくりの基本方針として、次の4つの理念を掲げている。

	図書館像
1	市民の生涯学習を支える図書館
2	子どもの生きる力を育み、青少年にも魅力ある図書館
3	情報化社会における市民の情報拠点となる図書館
4	市民の誇りとなる図書館

3 中央図書館の有する機能

中央図書館が有する機能は次の4つである。

	機能
1	センター館としての中枢的な機能
2	他の図書館とのネットワーク機能
3	市内連携による情報収集・提供機能
4	情報拠点機能

4 地区図書館の役割

地区図書館が有する機能は次の3つである。

	機能
1	地域に密着した情報提供機能
2	市内の他図書館の所蔵資料の取次機能
3	地域の活動団体などとの連携機能

5 府中市立図書館の施設概要

府中市立図書館は、中央図書館と12の地区図書館にて構成しており、13館の全てが複合施設となっている。

	分類	併設施設	図書館名	
府中市立図書館	中央図書館	ルミエール府中	中央図書館	
	地区図書館	文化センター		白糸台図書館
				西府図書館
				武蔵台図書館
				新町図書館
				住吉図書館
				是政図書館
				紅葉丘図書館
				押立図書館
				四谷図書館
				片町図書館
		ふるさと府中歴史館	宮町図書館	
		生涯学習センター	生涯学習センター図書館	

中央図書館はルミエール府中の建物内にあり、PFI 事業として図書館サービス部分に関する一部業務を民間事業者が実施している。

図書館名	中央図書館
概観	 <p style="text-align: right;">(出典：府中市ホームページ)</p>
所在地	府中市府中町2丁目24番地（ルミエール府中内）
延床面積 ²	6,077 m ²
竣工年度	2007年
管理形態	PFI
職員数	市職員 ³ ：30名、PFI事業者：53名
運営人員 ⁴	83名
図書資料数	1,053,213冊 (一般：898,051冊、児童：155,162冊)
合築機能	市民会館
その他	事務室：有、図書室：有、閲覧室・読書室：有 閉架書庫：有

(出典：(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)

² 図書館部分のみ

³ 一般職員22名、会計年度職員8名（月額制6名、時間額制2名）

⁴ 在籍人数を記載、在籍人数のうちおおむね一般職員18名、会計年度職員7名、PFI事業者20名が出勤するシフト勤務を実施している。

地区図書館は、他の公共施設との複合施設となっており、併設している建物によって、大きく3つに分類できる。

この分類に従い、代表的な地区図書館を取り上げて紹介する。

① 文化センターに併設している地区図書館
(白糸台図書館を含む10館)

図書館名	白糸台図書館
概観	
所在地	白糸台文化センター3階
延床面積 ⁵	207 m ²
竣工年度	1971年
管理形態	直営
職員数	市職員：9名（月額制会計年度職員：2名、時間額制会計年度職員：7名）
図書資料数	50,376冊 (一般：30,392冊、児童：19,984冊)
合築機能	市役所出張所、公民館、高齢者福祉館、児童館

⁵ 図書館部分のみ

②ふるさと府中歴史館に併設している地区図書館

図書館名	宮町図書館
概観	
所在地	ふるさと府中歴史館 2階
延床面積 ⁶	242 m ²
竣工年度	1966年
管理形態	直営
職員数	市職員：6名（月額制会計年度職員：1名、時間額制会計年度職員：5名）
図書資料数	36,299冊 （一般：20,467冊、児童：15,832冊）
合築機能	展示室

⁶ 図書館部分のみ

③生涯学習センターに併設している地区図書館

図書館名	生涯学習センター図書館
概観	
所在地	生涯学習センター2階
延床面積 ⁷	642 m ²
竣工年度	1992年
管理形態	直営
職員数	市職員：11名（月額制会計年度職員：1名、時間額制会計年度職員：10名）
図書資料数	61,630冊 （一般：43,075冊、児童：18,555冊）
合築機能	学習施設、体育室、温水プール、宿泊施設
その他	学習席あり

なお、③の生涯学習センター図書館の光熱費及び施設管理委託費は図書館が負担しているが、それ以外の①②の地区図書館では光熱費を、文化センター及びふるさと府中歴史館が負担している。

⁷ 図書館部分のみ

府中市立図書館を構成する各図書館の配置は次の図のとおりである。周辺の人口同規模自治体と比較すると、府中市は地区図書館数が多いため、一館あたりの人口が少ない。



利用人口同規模自治体の地区図書館数

自治体名	人口（人）	地区図書館数 （館）	人口/図書館数 ⁸ （人/館）
目黒区	279,251	7	34,906
墨田区	282,085	7	35,261
府中市	259,572	12	19,967
港区	263,970	6	37,710
調布市	238,952	10	21,723

（令和5年4月1日現在）

⁸ 地区図書館数に中央図書館数を加えたもの

6 府中市立図書館が提供する主なサービス

次の表は府中市立図書館が提供する主なサービスの一覧である。

サービス	サービスの概要	地区図書館の実施状況
貸出・閲覧サービス	幅広い分野の資料をバランスよく収集し、貸出や配架や読書空間の提供を行う。	全館で同様のサービスを実施。
予約・リクエストサービス	利用者からの予約に関する受入体制の構築や予約受付、利用者から要望のある図書の調達を行い、迅速な資料の提供を行う。	相互貸借事務は中央のみが実施。 資料の提供は全館で実施。
レファレンスサービス ⁹	レファレンスカウンターの設置や電子メール、ファックスを通じ、参考図書や電子資料、インターネットを活用して、利用者の疑問に応え、調査研究や学習を支援する。	全館で実施。(電子メール、FAXでのレファレンスについては中央のみで実施)
ビジネス支援サービス	ビジネス関係資料コーナーを設置する。 各種資格取得のための情報やキャリアアップのための情報を提供する。 商工会議所などと連携し、産業活動に必要な情報や起業に関する情報を提供する。	ビジネス支援資料コーナーの設置は中央図書館のみ。
ハンディキャップサービス	図書館利用に障害のある市民が利用しやすい施設を整備する。 大活字本や録音図書などの障害者用資料を収集、提供する。 対面朗読や音訳などのサービスを行う。 来館が困難な人に対しては、宅配などのサービスを行う。	対面朗読は中央図書館のみで実施。 障害者用資料は大活字本を除き、中央図書館のみで収集。

⁹ 図書館員が資料・情報を活用し、利用者の調査等を手助けするサービス。利用者の目的を達成するのではなく、利用者と資料・情報を仲介する。

サービス	サービスの概要	地区図書館の実施状況
多文化サービス	<p>英語、中国語、ハングルなど外国語資料を収集し提供する。</p> <p>外国籍をもつ利用者がわかりやすい館内サインの掲示や利用案内を行う。</p> <p>広く外国の言語や文化に親しむための資料などを収集し提供する。</p>	<p>常設の専用棚は未設置だが、巡回展示による資料展示などを実施している。</p>
学習・文化活動の支援	<p>さまざまな講座や資料の展示会などを開催する。</p> <p>学習室、読書室を充実させ、学習環境を整備する。</p>	<p>読書室、閲覧室があるのは12館中3館</p>
児童サービス	<p>絵本などの児童向けのよみものの収集・配架を行う。</p> <p>読書相談や児童からのレファレンスに対応する。</p> <p>おはなし会や読書キャンペーンなどの行事を定期的に行う。</p>	<p>全館で同様のサービスを実施。</p>
ヤングアダルト(YA)サービス	<p>若い世代の日常生活や成長過程に沿ったテーマの資料を揃え、読書への働きかけを行う。</p> <p>若い世代同士の情報交換の場を設ける。</p>	<p>全館でヤングアダルト(YA)世代向けの棚を設置。</p>
学校支援サービス	<p>学校図書館の資料で解決できない調べ学習の課題などに対する資料提供やレファレンスサービスを提供する。</p> <p>学級貸出などを行う。</p> <p>学校からの要請により、まちたんけんや社会科見学の受け入れなどを行う。また、中学生の職場体験の受け入れを行う。</p>	<p>学校配送便関係の事務、発着は中央図書館が実施。</p>
視聴覚サービス	<p>図書資料との関係を考慮しながら、音声・映像資料(CD、DVDなど)を積極的に収集する。</p> <p>映像資料の映画会などを展開する。</p>	<p>収集は中央図書館が実施。貸出、返却は全館で実施。</p> <p>映画会は中央図書館のみで実施。</p>

サービス	サービスの概要	地区図書館の実施状況
情報発信サービス	<p>ホームページなどの活用により、図書及び図書館に関する情報を利用者に提供する。</p> <p>紙媒体・電子媒体の情報の整理と活用を図り、情報利用の手がかりとなるデータベース化を行う。</p> <p>市民が利用するインターネット端末を整備し、情報収集の機会を提供する。</p>	<p>データベース、インターネット席の提供は中央図書館のみで実施。</p>
地域情報の提供サービス	<p>郷土資料や行政資料など地域資料の整備と活用を図り、市民及び市政への情報提供を行う。</p> <p>ICT 技術を活用し、地域情報を発信する。</p>	<p>全館で地域資料の棚を設置。</p>
ボランティア活動の推進	<p>おはなし会や対面朗読などのボランティア養成講座を実施する。</p> <p>図書館におけるボランティア活動を推進する。</p>	<p>ボランティアの募集や講座は中央図書館にて実施。</p>

(「府中市立図書館運営方針」の項目をもとに記載)

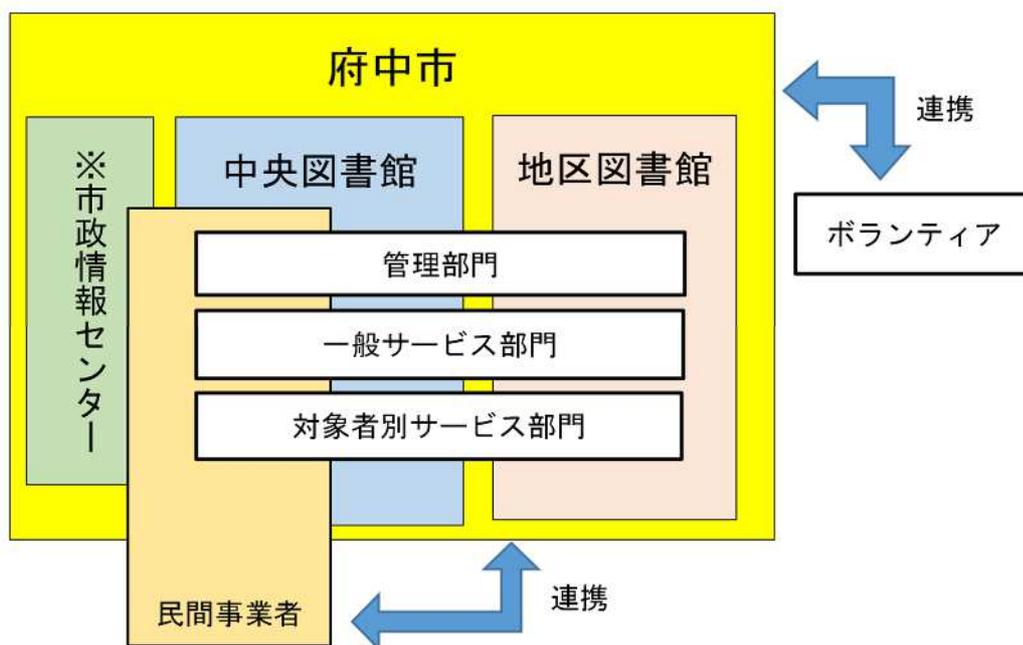
7 運営手法の概要

運営手法の概要は下表のとおりである。

府中市立図書館	運営手法
中央図書館 (ルミエール府中)	PFI（民間事業者）＋市 施設の設計、建設、維持管理、運営業務の 一部を民間事業者が実施
地区図書館（12館）	市直営 司書等の資格を持つ会計年度職員 2～5 名 によって運営

中央図書館及び地区図書館の現在の運営体制の概要は下図のとおりである。

中央図書館及び地区図書館の運営体制概要図



8 運営主体

PFI とは、民間の持つ経営力、資金力、技術力等を活かす手法です。民間事業者が施設の管理・運営を行うため、ノウハウを活かしたサービスの向上が見込まれる。ルミエール府中は PFI により事業者が資金調達をし、施設の設計、建設、維持管理、運営を行っている。

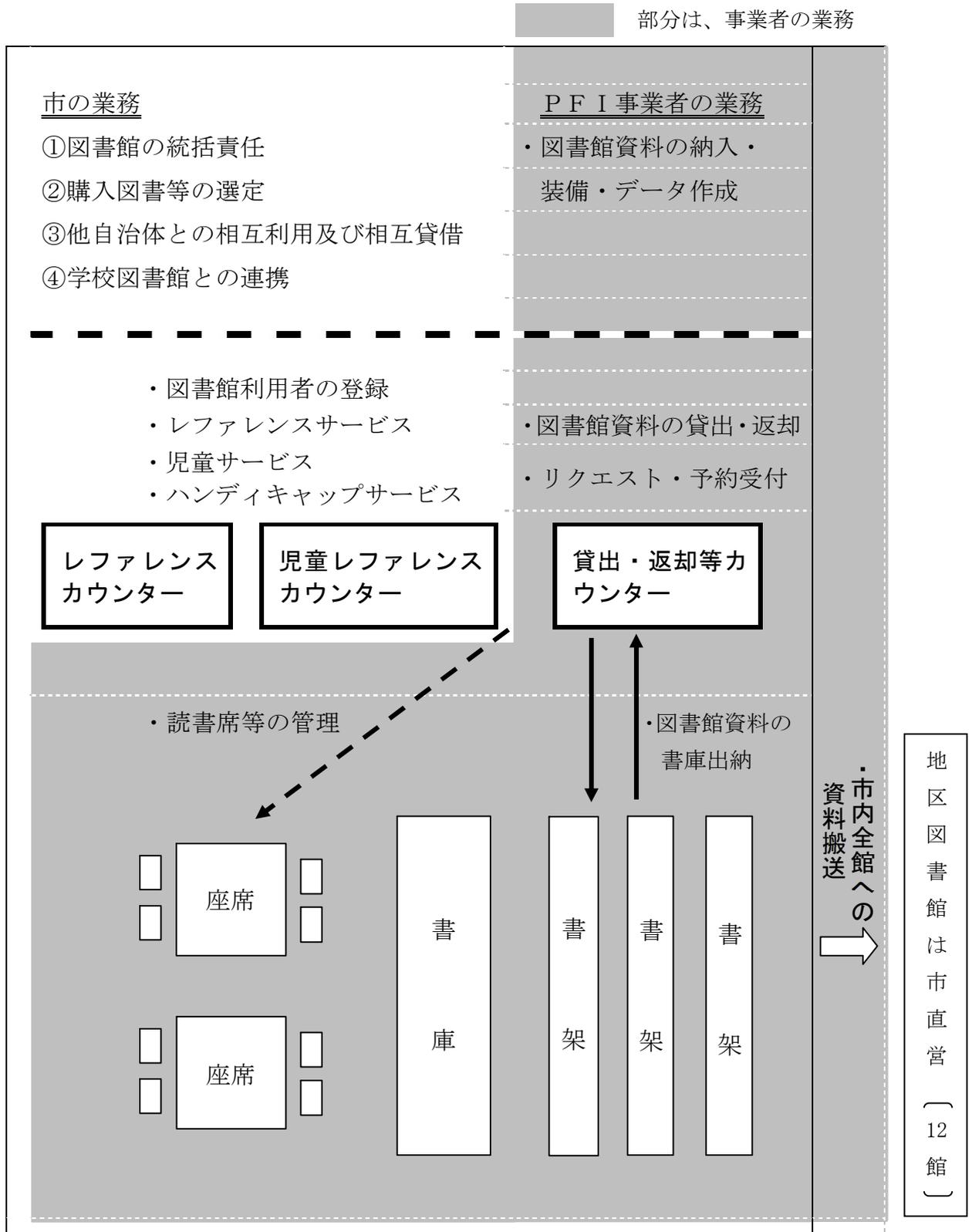
9 運営内容

図書館は、市民の生涯学習活動を支える中核施設として、図書及び視聴覚資料の収集・整理・保存し、市民に対して読書・調査・研究などの資料を提供している。中央図書館では、図書館の根幹である業務やサービスについては、市が直接実施している。

一方、地区図書館は直営であるため、市が全ての業務を実施しているが、中央図書館と地区図書館の間の配送業務、市が選書した資料の納入・装備作業等のみ、PFI 事業者が業務を行っている。

運営手法と業務例

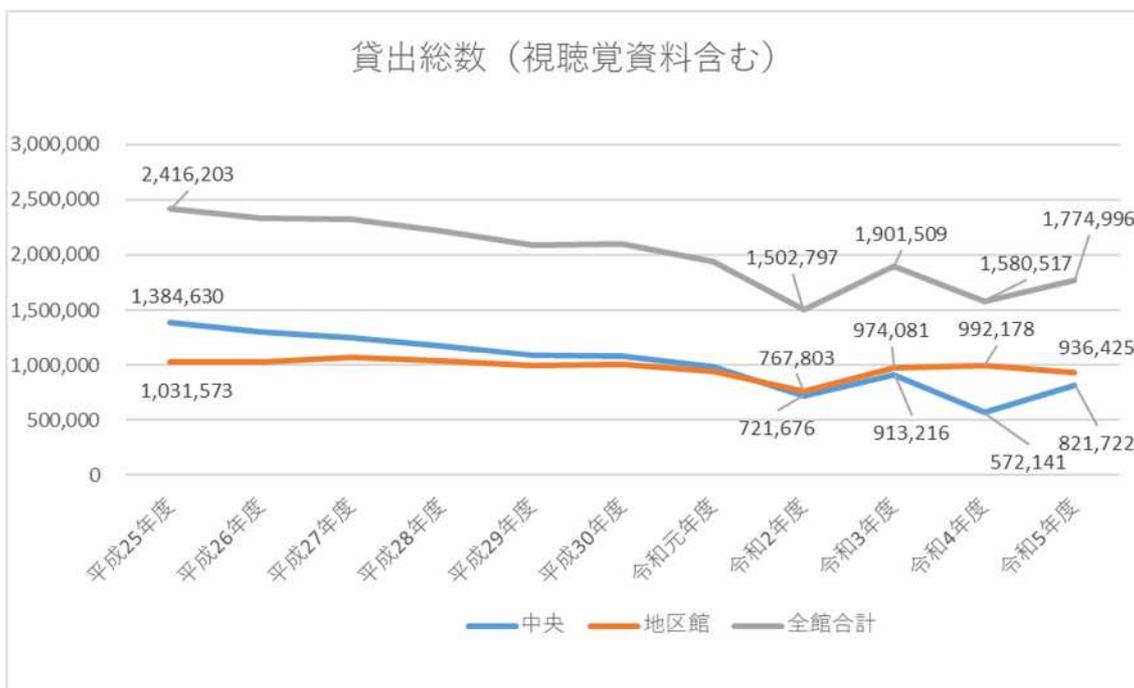
	中央図書館	地区図書館
運営手法	P F I （事業者）＋市	市直営
市の業務	利用者登録、選書、児童サービス、レファレンスサービス、ハンディキャップサービス、ボランティア活動支援、学校支援、他市相互貸借等	利用者登録、選書、カウンター受付（貸出、返却、レファレンス等）、配架、学校支援等
民間事業者の業務	カウンター受付（貸出、返却、レファレンス等）、配架、資料の納入・装備、地区図書館との資料配送、施設の維持管理、巡回警備等	



10 府中市の図書館の利用状況の推移

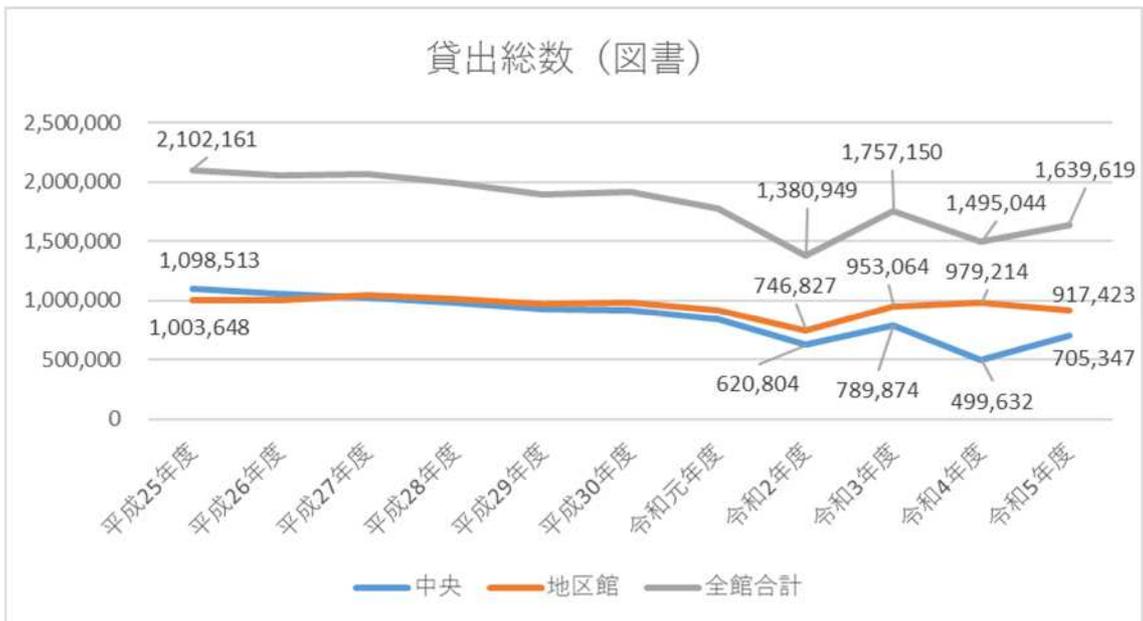


(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)



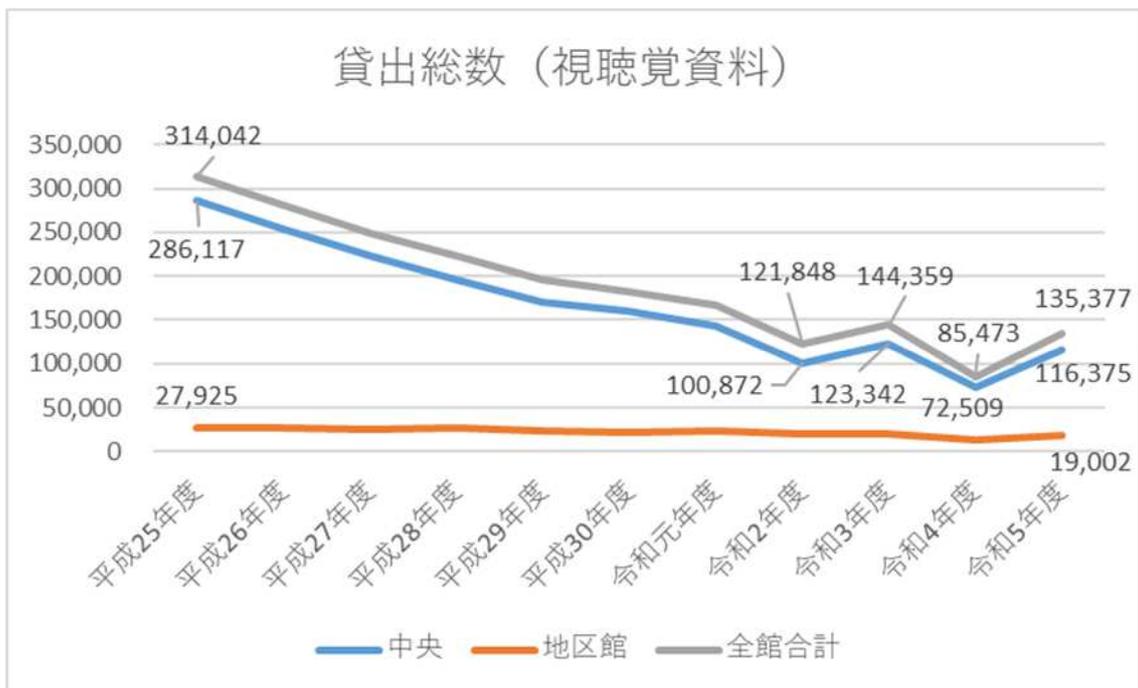
※平成 29 年度以降は全館合計に情報センター受取分含む

(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)

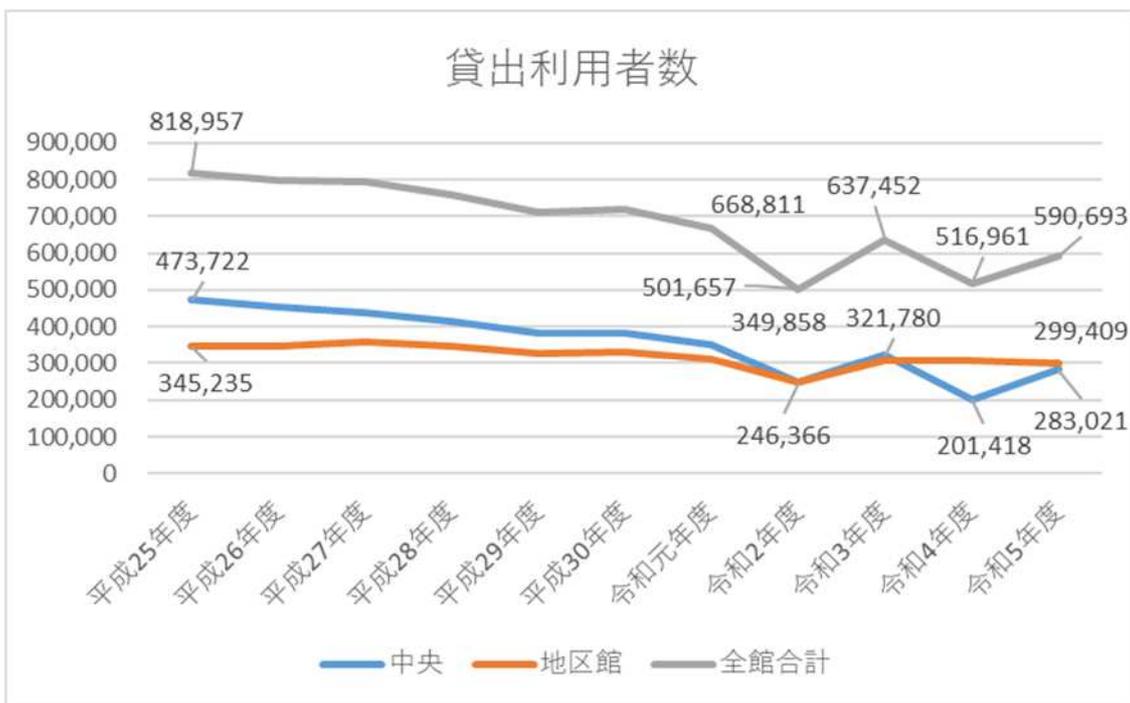


※平成29年度以降は全館合計に情報センター受取分含む

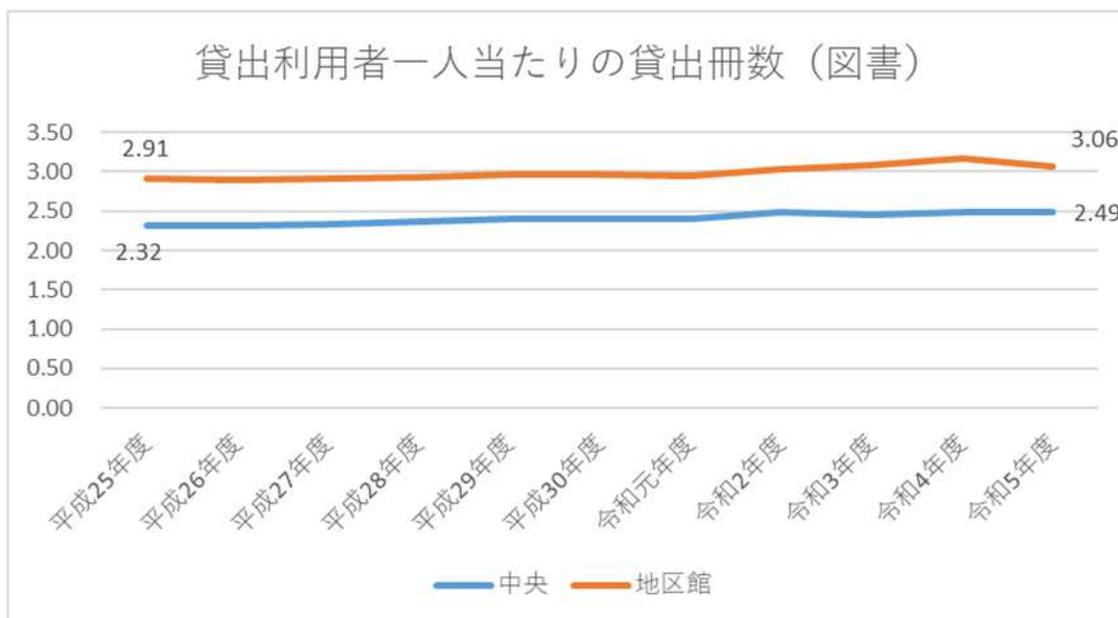
（出典：府中市立図書館事業概要【暫定】）



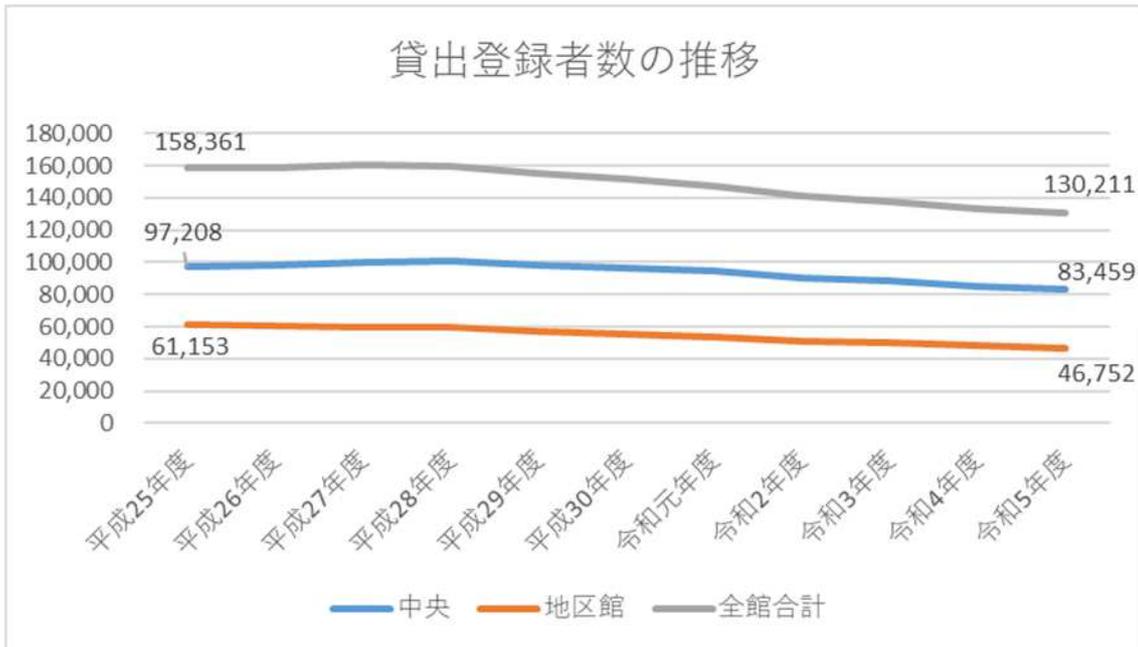
（出典：府中市立図書館事業概要【暫定】）



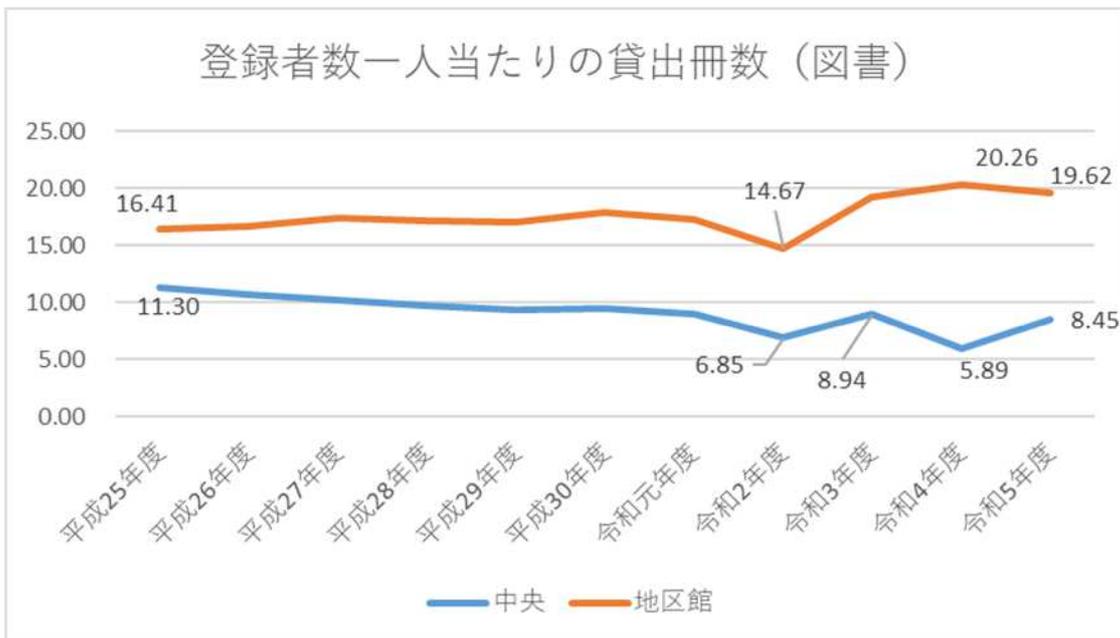
(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)



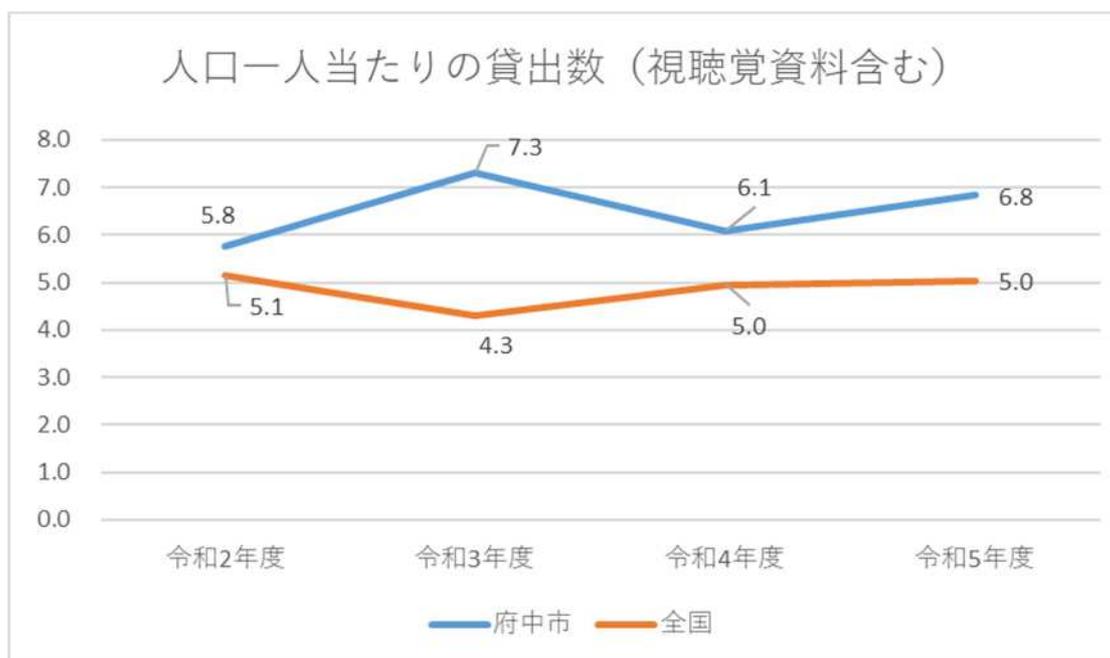
(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)



(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)



(出典：府中市立図書館事業概要【暫定】)



（出典：府中市立図書館事業概要【暫定】・総務省HP「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）」・『日本の図書館 統計と名簿 2023』日本図書館協会 2024年3月発行）

以下の表は、約5年毎の数値を表にまとめたものである。来館者数・貸出数・利用者数は減少傾向にあるが、特に令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大幅な減少となっている。

また、平成29年度より市政情報センターでの図書取次サービスを開始している。

中央図書館の来館者数（単位：人）			
平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和5年度
1,018,797	931,147	750,372	540,734

貸出総数（視聴覚資料含む）（単位：点）				
	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和5年度
全館	2,668,538	2,416,203	2,096,069	1,774,996
中央	1,596,730	1,384,630	1,080,503	821,722
地区	1,071,808	1,031,573	1,003,169	936,425

※平成29年度以降は全館合計に情報センターでの受取数含む

貸出総数（図書）（単位：冊）				
	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
全館	2,209,809	2,102,161	1,914,013	1,639,619
中央	1,168,403	1,098,513	919,843	705,347
地区	1,041,406	1,003,648	981,773	917,423

※平成 29 年度以降は全館合計に情報センターでの受取数含む

貸出総数（視聴覚資料）（単位：点）				
	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
全館	458,729	314,042	182,056	135,377
中央	428,327	286,117	160,660	116,375
地区	30,402	27,925	21,396	19,002

貸出利用者数（単位：人）				
	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
全館	895,226	818,957	712,671	590,693
中央	537,501	473,722	381,620	283,021
地区	357,725	345,235	331,051	299,409

貸出利用者一人当たりの貸出図書冊数（単位：冊）				
	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
中央	2.17	2.31	2.41	2.49
地区	2.91	2.90	2.97	3.06

貸出登録者数（単位：人）				
	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
全館	141,038	158,361	151,479	130,211
中央	79,612	97,208	96,665	83,459
地区	61,426	61,153	54,814	46,752

登録者数一人当たりの貸出冊数（図書）（単位：人）				
	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和5年度
中央	14.68	11.30	9.52	8.45
地区	16.95	16.41	17.91	19.20

人口一人当たりの貸出数（視聴覚資料含む）（単位：点）				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
府中市	5.8	7.3	6.1	6.8
全国	5.1	4.3	5.0	5.0